



## 鹿野の初春に「花」が咲く お花に本気出した文化祭、開催!

### 昼

間はとても暖かくな  
り、ついに春がきた  
といった様子ですね。今月  
号の「えーる!」では、3  
月16日に旧大潮小学校で開  
催された「お花に本気出し  
た文化祭」の様子をご紹介  
します。

このイベントは、冬季を  
除き毎月開催される、K A  
N O かくれがマルシェ内イ  
ベントとして開催されまし  
た。花をテーマにしたこの  
文化祭を開催した思いを、  
実行委員の荒木萌さんにか  
がいました。

周南市内在住の荒木さん  
が鹿野を訪れるようになって  
約2年。関係している団  
体が鹿野の古民家を使って  
活動していることがご縁に  
なったそうです。

介護福祉士として働くか  
たわら、絵手紙ボランティア  
などの活動をされている  
荒木さんは、昨年、旧大潮  
小学校で開催された「大人  
が本気出した文化祭」にも  
参加。鹿野の中で、さまざま  
なご縁に恵まれました、  
と語ります。



そんな中、てんぐ巢病の  
周知活動などを進める団体  
「さくらの守人」を知り、  
その活動をみんなに知って  
ほしいという思いから「お  
花に本気出した文化祭」の  
企画がスタートしました。

「これまでいろいろな人に  
助けられてきましたし、お  
世話になった人への恩返し  
と、出店を考えているけれ  
どもその場所が見つからな  
い人を助ける、恩送りがで  
きたらと思います」と、思  
いを語ります。

「ラテン語で『カルペ・デイ  
エム』という言葉がありま  
す。『今日と言う日の花を  
摘め』という意味の言葉な  
のですが、仕事の中でも利  
用者様の『今日』という花  
を摘み、たくさんの思い出  
を作りたいと考えていま  
す。同じように、このイベ  
ントに関わった皆さんの一  
日一日が、すてきな思い出  
になればと思います」  
荒木さんの今後の活動に  
心からエールをお送りしま  
す!



「自分の好きな服を着ることのできる場所を作りたい」という思いから活動する「黒猫のクローゼット」のファッションショーがステージで行われました。



会場では、さまざまな団体が出店。こちらは、鹿野で個展を開かれたことがある、マエサキマユさんの作品たちです。



地元の「大潮田舎の店」は、イベント限定で、いなり寿司と桜餅を販売されていました！ どちらもとてもおいしかったですよ。



## 「お花に本気出した文化祭」 開催風景



会場の各所には、鹿野の特産品である手すき和紙「山代和紙」を使った造花や装飾が施されていました。和紙のやさしい風合いが、木造の会場によくマッチしています。



さくらバトンプロジェクト、進行中！

荒木さんは「さくらの守人」とも協力しつつ、山口県内の介護施設に桜の枝を届ける活動「さくらバトンプロジェクト」を進めていらっしゃいます。施設利用者の方々と、一緒に桜が咲くのを見守ってほしい、という気持ちで続けられるこのプロジェクトでも、県内に「花」が広がっているんですよ。

